

ピアホームだより

2023. 2. 10

複雑な社会システム

ー入退去の経験からー

高度化・細分化された組織システムを持つ現代社会は、通常業務では高度なサービスを提供することが出来ますが、イレギュラーな事態には対応が不十分で、やたらと時間のかかる社会となっていることが分かりました。また、組織の効率化・集中化も進み、窓口の一元化とサービスの低下が著しいと思います。

こんな社会を障害者はどう生きるのでしょうか？

J:COM 板橋の例

J:COM は、業務を地域割りし機械の設置と引き取り業務を部門分けしています。

今回、ピアホームⅠの中台とピアホームⅡの高島平で地域管轄が違っていたため、結局、窓口が4か所になり、連絡だけで一苦労してしまいました。挙句の果て、引き取りには日にちの調整が必要なため、間に合わない事態も出

てきてしまい、結局、こちらから機械を返却しに行くことになってしまいました。

東電に電話が繋がらない

電気・ガス・水道のライフラインの公共料金の手配は引越しの基本になります。利用者の皆さんにも経験して頂き、社会生活上の手続きに慣れてもらう必要があります。

昔と違い、電気を引くだけでなくメニューを選べる時代、また、支払い部門に企業が参入し、複雑になってしまっています。そんな中で、引越し次の住まいに契約を移すのも大変な作業になっています。

現代の複雑な社会では、障害者の方が、一人では東電の窓口にとどり着くことも出来ないのでしょうか？！

効率化のための窓口集中化のせいだと思います。イレギュラーなことー障害者との契約などーのための臨機応変な対応も必要なわけですが、現場の実情と切り離された集中窓口では、そのような柔軟な対応をするのも難しいということになってしまっています。

銀行での口座開設の制限

オレオレ詐欺防止のためとして、今の銀行は自由に口座開設も入出金も出来ません。

また、低金利時代になり手数料がかかるようになってしまいました。

障がい者の皆さんにとっては、わずかの手数料も負担のため、当ホームの取引銀行で口座を開いて頂くのですが、ここでも地域割りの壁があって煩雑な手続きが必要になっています。

増える事務仕事

今回のピアホームⅡの増築建て替えにあたり、都には5回も相談に行っています。グループホームの実態を伝えることも出来た面がありましたが、大変な労力でした。

また、3年ごとの第3者評価が重なり、同時期に集団指導もありました。今年度、処遇改善手当にベースアップ手当も加わり、報告もありますから、それだけで6回の書類をつくることになります。

障がい福祉サービスの事務ばかり増えるのは本当に考えものです。

2月の予定

2月16日：国立精神神経研究センターでAさんのカンファ

2月17日：新入居者Bさん入居契約

3月1日：Bさん入居、第3者評価実地調査